

# 富山県発明とくふう展内容説明書 (審査・展示用)

(第52回)

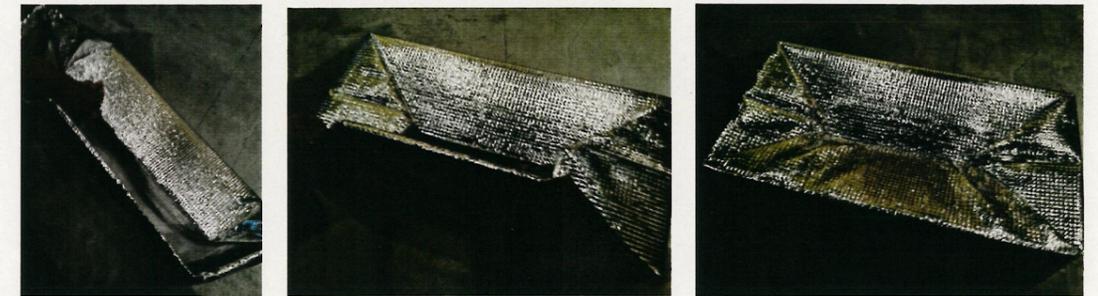
(1) 企業の部	(2) 一般の部	受付 番号	(企) 5
----------	----------	----------	-------

ふりがな	みずもれしないだんねつほれいようき		
作品の名称	水漏れしない断熱保冷容器		
ふりがな	じゃぱんぱっく	ふりがな	ながたひろやす ・ ながたみつひろ
会社名	ジャパンパック株式会社	発明者名	長田 宏泰 ・ 長田 光弘
特許・実用・意匠 の出願状況	<input type="checkbox"/> 未出願 <input checked="" type="checkbox"/> 出願済み	出願・公開番号 特願 2012-1207	登録番号 外国特許他
特徴と要点 (必ずご記入下さい)			
<p>海鮮市場など、鮮魚類を購入した際に、持ち帰りや配送使用で、発泡スチロール容器が山積みとなっており、店内スペースを圧迫している問題があった。そこで、折り畳みが可能であり、尚且つすぐに組み立てが出来、後処理も容易な容器が望まれていた。魚を入れる際、同時に氷を入れる事を想定し、特殊形状の袋状にしたフィルムに、袋と段ボールとの接着位置も工夫し、巻き込む構造とする事で、内容物に水気があっても、外に漏れ出てこない構造を考案した。</p> <p>そうする事で段ボールの断面部の空気層が更に断熱空間となり、発泡スチロール容器に匹敵する抜群の断熱性を持つ。また、容器内部に氷を入れる事が可能であるのは、フィルム(アルミ/発泡蒸着フィルム)を平袋状に左右をヒートシールして底面と同一となるような位置関係にしているからである。また、底部は、アメリカンロック方式を採用し、テープ張りが必要なく、封緘時間の削減に寄与している。上部蓋についても、内フラップに三角形形状を採用し、フィルムが重なり合う事で、外フラップとの気密性を保持し、ケース全体の断熱性を高めている。使用後は、段ボールとアルミ/発泡蒸着フィルムとは、部分接着のみである為、引っ張れば簡単に剥して分離処理(リサイクル)が可能である。更に発泡スチロール容器と異なり、ピース欠けが無く、表面汚れが発生し難い素材である事から、長期に渡って使用可能であるため、「クールエコバッグ」としてや、「クーラーボックス」の代替として、長期に渡り、複数回の使用が可能である。</p>			

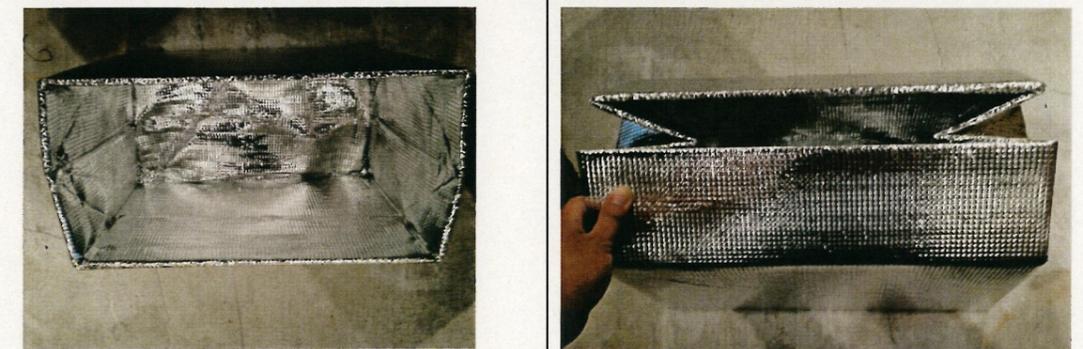
略図、図面、写真等で、簡単に特徴を記入して下さい。



保管時は折り畳んでおくことが可能。発泡スチロール容器のように、嵩張る事はない。容器の底を広げると、写真のようになっています。段ボールとアルミ/発泡蒸着フィルムで構成されており、2つの素材の相乗効果で、抜群の断熱性能を有している。



箱の組み立ても容易であり、番号①②③と、容器を折り曲げると、底部が組みあがる。(アメリカンロック) フィルム間の隙間も少ないので、高い断熱性を保持している。



箱の内部は、写真のようになっている。1枚のフィルムを特殊な形状仕様で袋状としており、水気のある物を入れても、漏れる事はない構造となっている。封函する際も、幅面(短い面)2箇所(矢印)を内側に倒すだけで、高い気密性を保持したまま封函が可能である。